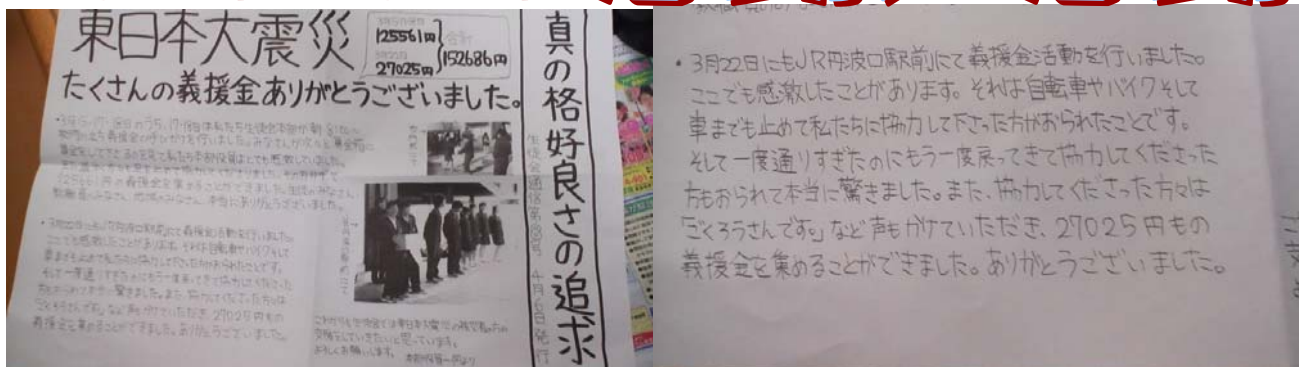


つなぐ手ねっと

(リハビリスタッフが名付けてくれました。私たち、仲間、地域の復興へ向けた表現です。)

長町・若林地域訪問対策本部発 No. 10 2011年4月11日

ただただ感動、感動



全日本民医連の援助者として来ていた京都市民医連の岸本さん。自宅に帰った翌日、中二の息子さんが見てほしいと生徒会の通信を机に置いていたそうです。ただ感動♥感動♥

業務支援（4/1～3）の熊本・川上さんよりメール

(略) 昨日(7日)の地震をテレビで見ている、皆さんのことがとても心配になりました。怪我などされなかったのでしょうか? きっと想像以上の不安を感じておられるでしょう…。地域訪問をさせていただいた際に、ようやく倒れた家具などを片付けました…と言われていた方や3階病棟で休憩室も物が散乱して大変だったんですよ…とお話をしてくれた看護師の方々の顔が浮かび…とても胸が痛みます。(略) 被災地の方たちの、はかりしれない悲しみや苦しみは、私たちの想像をはるかに超えるのでしょう…。でも私たちはその方たちの苦しみや悲しみ不安を無駄にしないように、これからもずっと忘れることなく経験を生かしていかなければならないのだと思います。そしていつでもどこからでも駆けつけてくれる仲間がいます。どうか忘れないください。今の苦しい現実を受け止めながらも必死に前を向いて頑張っておられる皆さん、本当に頑張っている姿が痛いほど伝わってきました…時間はかかっても必ず復興します。皆さんの団結力と日頃からの努力がきっと大きく生かされる日々がきます。でもどうか…無理をされず、職員の方も困難だとは思いますが、休養もとりながら、体も休めてください。人手がいるとき、どんなときでも、いつでも助けを求めてください。全国から駆けつけます。(熊本県連 くわみず病院 看護師 川上和美)



9日10日のクリニックの引越し

震災から一カ月、先日の余震にはびっくりしました。この間、生まれて初めての経験、何をするにも手探りで対応をしてきました。

皆さん、そろそろ疲れもピークになるころではないでしょうか。肉体的、精神的に少しでもおかしいと思ったら、すぐに受診することをお勧めします。

これからも全日本民医連の支援が続きます。長町・若林地域を中心に訪問行動をおこしますので、職員の皆さんの積極的な参加をお願いします。